

「ありがとう」の気持ちでプレゼント～カレンダー作り～



11月23日の勤労感謝の日は「いつもありがとう」を伝える日ということで、さくらぐみの子たちが話し合って、日ごろお世話になっている地域みなさんに『ありがとう』の気持ちで、カレンダーを作ってプレゼントすることになりました。「どんなカレンダーがいいかな?」「保育園で楽しいことはどんな?何が楽しい?」とひとりずつ楽しいことを出し合って、園で楽しんでいることの中から【14ひきのおつきみ】のお話のイメージで、月と星を見ているみんなの顔を作ることになりました。

「ちゅうりっぷぐみも一緒に作るから、どうしたら難しくないかなあ?」「さくらぐみはちょっと難しくてもチャレンジできそうだね」と自分の顔を描くのにもいろいろな意見が出てきました。花火作りや地区文化祭の作品作りで経験してきたことを思い出しながら、月は指や手のひらでスタンプしよう。星は絵の具を付けて筆を振ると、流れ星みたいになるね。キラキラのスパンコールを付けるのも素敵じゃない?と保育者も案を出しながら一緒に考えました。

月を貼る時は「どこに貼ろうかな?こっち向きでいい?」とのりを付ける前に話し合っている姿もありました。「プレゼントだから、のりを付ける時は丁寧に付けるんだよね。付けすぎると破れちゃうからね」「はじっこも真ん中も付けるとはがれないよね。」と子どもたちの中から声が出て、みんなに知らせてくれる場面もありました。日頃から、自分たちで「どうしたらいいかな?」と考えて伝えることを大切にしていることで育ってきている姿かなと思いました。



出来上がったカレンダーは、郵便局・コミセン・農協・コンビニ・駅・石井さん・保育園の7ヶ所に「いつも体育館で遊ばせてくれてありがとう」「枝豆、一緒に植えてくれてありがとう」など、グループごとに考えた『ありがとう』の言葉を添えて渡しました。

カレンダー作りをきっかけに、「昨日のお月さま大きかったね」「まん丸だった!」と友だちと話す姿も見られました。これからも日々の保育の中から『楽しい』を繋いでいきたいと思います。

